

し ょ う わ つ う し ん

Show-a 通信

2010.11
創刊号

北海道消化器科病院は消化器病分野の最先端治療で地域医療に貢献しています。

医療法人彰和会の「彰和 (Showa)」と明らかにするという意味の「Show」を合わせて、「Show-a通信」としました。
私たちの仕事をお知らせすることで、消化器科領域の最新医療をお伝えします。

傷口を最小限に抑える鏡視下手術

消化器外科 森田高行 副院長

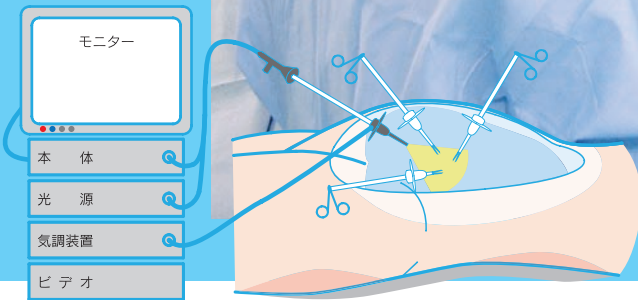
創刊挨拶 / 堀田彰一 理事長・院長
部門紹介 / 手術室・中央材料室

写真 / SPECT (スペクト)

放射性同位元素 (RI) を利用した核医学検査を行う医療機器。患者さんに投与された RI から放出されるガンマ線を多方向から捉え体内分布を画像に再構成することで、ほぼ全身の臓器の機能や病気の状態を調べることができます。がんの骨転移を早期に発見することも可能です。



腹腔鏡下手術は全身麻酔下で行なわれ、腹壁に約3〜12ミリの小切開を数カ所つくり、腹腔鏡を腹腔内に挿入し、写しだされた映像をモニターで観察しながら挿入した医療器具で、胆のうや胃、大腸の患部摘出を行います



消化器 Frontier

傷口を最小限に抑える

鏡視下手術

消化器疾患に対する外科的治療は、従来、お腹などを大きく切り開く開腹手術が主流でしたが、当院では開腹を必要としない鏡視下手術（腹部の場合は腹腔鏡下手術）に積極的に取り組み、患者さんの体への負担軽減と、より早い回復につなげています。

手術後の回復が早い鏡視下手術

十数年前まで腹部や胸部の手術は、患部を直接目で見ながら行うために切り開く必要がありました。

これに対し鏡視下手術は、腹部や胸部を3〜12ミリ切開し、炭酸ガスを注入して膨らませ、さらに腹腔鏡や胸腔鏡と呼ばれる細長い棒状の内視鏡（カメラ）と特殊な医療器具を挿入し、モニターで患部を見ながら、患部の切除や摘出などの外科的治療を行うものです。傷口を最小限に抑えることができるため、患者さんの体にかかる負担を軽減できる大きな利点があります。

当院では、ヘソのみ、またはヘソを含む2カ所の切開で行う最新手技の鏡視下手術にも取り組んでいます。

※鏡視下手術は、病気の状態によって適用できない場合があります。

消化器外科 森田 高行 副院長

1955年7月18日釧路市生まれ（55歳）



1981年3月 北海道大学医学部卒業
1981年5月 勤医協中央病院麻酔科
1982年5月 小樽協会病院外科
1983年5月 室蘭新日鉄病院外科
1984年5月 北海道大学病院第二外科
1986年4月 北海道大学附属癌研究施設病理学講座
1987年3月 米国ハーネマン大学実験病理部門
1989年4月 北海道消化器科病院外科部長
1994年4月 同 副院長

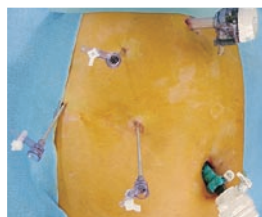
学会指導医・専門医・評議員など

日本外科学会専門医・指導医／日本消化器外科学会専門医・指導医
日本消化器病学会専門医／日本内視鏡外科学会（大腸）技術認定医
日本肝胆膵外科学会高度技能指導医／日本がん治療認定医機構認定医
日本内視鏡外科学会評議員／日本肝胆膵外科学会評議員

進化する鏡視下手術

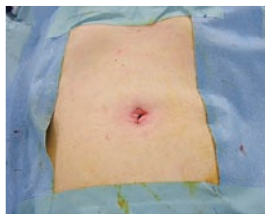
従来の鏡視下手術

小さな傷跡が数カ所残り
※写真は急性胆のう炎に対する腹腔鏡下胆のう摘出術



最新の鏡視下手術

※写真は胆石症に対する単孔式腹腔鏡下胆のう摘出術



従来は、腹部に小さな切開を3～5カ所入れて手術していましたが、最新の手術は、ヘソの内側に1カ所、またはヘソの内側と合わせて2カ所だけで、胆のうや胃腸患部の切除や摘出を行います。



腹腔内に挿入する鉗子などの医療器具は、直径3～12ミリが中心（右が鉛筆）



細い棒のようなものが腹腔鏡。先端に内蔵されたカメラが、腹腔内の映像をモニターに映し出します

鏡視下手術の利点と欠点を考え、患者さんにとって最も良い治療を選択しています

鏡視下手術の利点

- 手術による傷が小さく、回復が早い。
- 術後の痛みが、開腹手術より軽減される。
- 入院期間の短縮や、早期社会復帰が可能な場合が多い。

鏡視下手術の欠点

- 臓器に直接触れずに行う操作が多いので、難易度が高い。
- 進行した癌に対しては、行えないことが多い。

鏡視下手術を北海道で初めて導入

フランスで1987年に誕生した鏡視下手術が、日本で始まったのは1990年春。その後、医療機器の進化に伴い、外科領域において目覚ましい進化と普及が続いています。

当院では、1991年に北海道で初めて鏡視下手術に着手し、胆のう摘出手術を成功させました。現在では、全身麻酔下手術のうち約6割が腹腔鏡下手術です。内訳は胆のう摘出・大腸切除・胃切除・食道切除・虫垂切除・肝切除・脾切除・腸閉塞手術など多岐にわたります。

当院の鏡視下手術件数は、道内では最多であり、全国的にも高い水準を誇ります。

消化器疾患治療に大変良好な結果

腹腔鏡下手術による胃切除は累積280件。胃の機能を温存するために、切除を最小限に留める縮小手術に積極的に取り組んでいます。胃の代わりを小腸上部の空腸と呼ばれる部分で作るパウチ再建手術も腹腔鏡下で実施しています。

腹腔鏡下手術による大腸切除の累積は740件で、上部直腸の進行がんにも対応し、開腹手術と同等のリンパ節郭清も腹腔鏡下手術で行っています。

腹腔鏡下胆のう摘出術は累積3800件を数えますが、創感染などの合併症も1%以下と安全性も安定しています。

高度な技術を身につけ磨き合う体制作り

鏡視下手術は患者さんにとって負担が少ない医療ですが、医師には熟練した高度な技術が要求されます。また、経験豊かな専門スタッフの積極的な協力が必要で、決して簡単なものではありません。

当院では、鏡視下手術を安全に行うため、外科医師の技量を高める指導体制を充実させています。手術助手として経験を積むばかりではなく、トレーニングセンターに向いて研修を受け、学会やセミナーで新しい手法や最先端情報を積極的に入手し、常に修練を積んでいます。

私たちは根治性を求めながら、患者さんの体に負担が少ない、胃や腸の機能を温存する手術法を選択し、その技量を高める努力を重ねています。単純に切除すればよいというのではなく、「手術後の痛みや退院後の生活を考慮した、責任ある専門的な高度医療を提供すべき」と考えています。

北海道消化器科病院 消化器外科医師

森田 高行 副院長
藤田 美芳 部長
岡村 圭祐 医長
山口 晃司 医長
市村龍之助 医長
福島 正之 医長
佐藤 彰記 医師

最新 医療情報をより多くの皆様へ お届けするために

北海道消化器科病院理事長・院長 堀田 彰一



当院は1988年2月に消化器の単科専門病院として開院し、22年目を迎えました。「内科・外科・放射線科が一体となった消化器疾患の診断・治療」を目指し、職員50人でスタート。消化器科領域の検査や治療に特化してきた歴史が、当院の専門性と医療水準を高めてきました。

現在の職員数は医師19人を含む約250人。各専門職が新しい診断技術や治療法などを身につけ、以前は治療が難しかった疾患も治療することが可能になりました。

当院では、こうした最新の医療情報を、年4回発行する当院広報誌「Show-a(しょうわ)通信」で、患者さんや地域の皆様にお知らせし、健康維持や健康回復のお役に立ちたいと思っております。

広報誌「Show-a通信」は自由にお持ち帰りいただけますので、ぜひ、ご愛読ください。

部門紹介

スタッフ/看護師長 市川明美
ほか看護師8人(内視鏡技師1人含む)・中央材料室助手2人

手術室・中央材料室



鏡視下手術用のモニターが並ぶ手術室



中央材料室助手



手術室看護師

手術室・中央材料室は2階にあり、ICUと隣接しています。消化器疾患の外科治療専門の手術室が4部屋あり、2009年の手術件数は830件。そのうち鏡視下手術は344件です。

手術室に勤務する看護師は、手術環境を整え、術前訪問、術中看護、術後訪問などを行うほか、手術器具の洗浄・点検や滅菌、医療材料等の保管・管理も行っています。

手術室看護師の役割には、外回り看護と器械出し看護があります。外回り看護師は手術前日に患者さんを訪問し、少しでも安心して手術が受けられるよう説明し、安全な看護を提供できるよう情報収集に努めます。器械出し看護師は手術中に使う器械が不足しない

よう準備を整え、手術展開に応じたシミュレーションを行い、手術をスムーズに進行させます。

術後訪問では、患者さんに不快感や痺れなどがないかを確認し、看護の振り返りや評価を行います。常に安全で安楽な手術看護を行うため、知識と技術の向上に努めています。

市川師長は「手術室では外科医・麻酔科医・看護師の円滑なコミュニケーションやチームワークが大切。協働作業であることをスタッフ全員が意識し、また、医療安全にも注意しながら日々の業務に取り組んでいきます」と話します。

消化器外科手術の専門知識を持つ看護師がサポート

当院の理念

皆様一人ひとりの権利を尊重し、良質で安全、かつ最高の医療を提供します。

基本方針

医療法人彰和会北海道消化器科病院は、医療の進歩と共に歩み地域医療に貢献するために職員一同、以下に掲げる基本方針を遵守します。

1. 専門病院として患者様に最も適切な医療を提供します。
2. 医療技術の向上を図り、最新の医療を目指します。
3. 患者様および家族が治療を選択する権利を尊重します。
4. 安全で快適な医療環境づくりを心がけます。
5. 医療を通して社会に貢献することに努力します。



医療法人 彰和会
北海道消化器科病院

消化器内科、腫瘍内科、内科、
消化器外科、外科、肛門外科、
放射線科、麻酔科、病理診断科

- 設立：1988年2月20日
- 住所：札幌市東区本町1条1丁目2番10号
- 電話：011-784-1811 □ FAX：011-784-1838
- ホームページ：http://www.hgh.or.jp/
- 病床数：211床